湖月抄

十五

紅葉文庫

蓬生

并一 細 巻名詞并に歌ばかりをぬきてつゞけたる語ハ
なるべしとぞ云る詞ゐを歌ゐもみなこれ
盃 詞ゐ歌ゐなるべしまづ蓬の家ゐにちん侍る
とあり。よりごとはいとれぬよ侍てゝとぞ云ふ
奇よハ弱わてもゝれてそゝめ道をなくゝみて蓬乃
りもの心をとゝあり 細 師 浴巻より蓬字七あり。郷も蓬
生とつゝきこゝろいみし。生れ字ハ付字也。やうも字を付
てゝ云る式物語のゝ詞ゐ。為 蓬 蓬のゝ詞ゐ也
細 花名よハえわ歌ゐなるべしまづ蓬の家ゐにち
ちんとあり。蓬通の中ゐ侍 俗蓬の家ゐにさとあり云云
蓬生と云事 河 杜詩云云蓬生非無根云云 拾遺 いりて
く蓬にちん蓬生の人をとゝよゝぬゝりぐやどの道。并に
并 細 横の并也。洽標(ミラヅレ)のさゝ乃ゝもあり。源氏廿七巻

事八講のこと（巻よりあり）

みなつくしの巻の中わたし

元八年の四月に成立とおもふるわ
ゐ未だ結合の未まだての事あり。未は豎よりなるべし。悉皆
常陸文の始終とをもふべし。花 源氏は七八年のうちに
さうるべし。蓬生の末の始終をも出家（年三六）とよりてどで
めい源氏の流ヘうつりて。洛東の事とうとき。洛よりみこと也
ぐりうるまなびめて三条の末流ようりまみ事
とのせうり。これを相続の他ふれ出そうるべ事こいま
さく蓬生の宿とをるまみてわをひうる源氏は八年の四
月乃至元年いく横の并みとれるべ 師 細事横豎の
并也とのまうり。花盃ハ横の海とこと

りかれて 細 行平の中
とおもて源氏の流ヘのよ迄の
時のまをまこと元六年乃
事まうり。河古行平は
くらいりとふ。ハ流ヘ
の海よりをれて京
ようこと盃
さても我方のうり而
細とろぐのれうこと也
盃まで好色のうへぐりに
てまのこどころあること
ハ流ヘ伝うりのまぐりと
一をうまよりびのまこ流ハ
うりをまのこうこうこと
ハこ流ぐこのまぐりまりこと
二条のうへ迄 盃 是も源
ぐうりと形こうこうこ今れ
と面倒自由ものれば細こ流
ヘ表伝ハり。別流ぬまこ
うりのれまをひる
流のれ表ものこりもめ付る
こ物宗伝とうれうこ人
の物表ものこ
けのれよ 細 只は世のう

ハりうれつてよびまひ一比ハ流ひ物うりを
うぐこ流ぐうまげぐこ人ハ流ぐうりまをて
を我方のまり形あうはひとこの学ひ
うをうまげまりう。二条のうへ迄をと
のどやうめて。びのれをこう紙も流つる
まりこびう学こうこひり。伝をさうり流
まるうりのれまをひをもふけのこれよ
のうこあまをけこよつけてわうこひこて
流よまぐこあ流ろんまるうくこあうどとを
人ものこ流れど立利まひ一程の流ハ
流ともこのことよこひやり流ヘこの
れ流ぬ思こ
まこのうろうぐこ流一ぐひ流ハりひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
細河殿とりよ本法師と
[illegible]
法師とも[illegible]
法師の中より[illegible]
乗盃

[illegible]
細掃除[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぎう柳くが葵ハつれぐぐさ
めさぐ〻ぐつぐ古枕れ冬

わぐとこのまめねど
細 絵とこのまめさまるて
ハうけ色ど見みつるの
ぢく
ぢうぐ心たち 細 ぬどち
のみ〻ぐう絵まく〻ぐう
のまぐもまく〻めまま
のまぐと丈さの袁郷色
ーまよ絵源く〻ぐよ
もまく〻まくしては
ますく天絵上蔦ーれさ
海く暁男方のみのまに
ハ組ど女どられ書絵を
もつまくーく絵く

きみうこと掛ぐうりみどやうのまきひぐ
とみくこそづれぐとまぐまつぐ
ぐすまねをもるぐまむうまぐみれ
さやうのくとみをうろどまくりの絵
わぐとこのまうねどとのぐくまこ
海よのこあうくるまさほどいるぐくうたう
みまうよつまぐまうらてまそわぐま
人ハ本まよつけてをんとかぐまんまぐ
くれどぬやのりてーづま絵ーれんまま
てのまよ世中をつまーれ掛よぬづて
まれみまをこかもひまぐまれわうまを
まうまれ絵うどみうめまうまぐ

河唐寺顔姑射刀自藝奕
姫の巻もみまこのうの
の名く 細 伝巻も古掛絵た
こどぐと八今も内伝和年ぐ
又扇書の巻よりつふ女
をぐ方自ーまを女の想ぬ
巻ー
みうことても 細 古寺巻
巻年ぐうりハ面ものまま
をわうちぐれくまを扇の撰
集ちぐーまを又和をまの
ぐまーまや
人やぐく 河 紙金絵陸奥紙
奥列うう檀紙をもまさぐ
ーしうく檀くまゆまこのまく
万巻よハまうちのくれすゆまこの
紙くまう紙金河しハ花
平陸の中を南へぐれう
川く仁和寺川くも号を五
ハ万て紙をもれ紙ぐう
今の世れ人のまみう絵ぐうまま
暁ハ祢上蔦ーれく
をくまぐとうくを

うくまりうまこのまの
河 唐寺顔姑射刀自藝奕
姫の巻もみまこのうの
の名く 細 伝巻も古掛絵た
こどぐと八今も内伝和年ぐ
又扇書の巻よりつふ女
をぐ方自ーまを女の想ぬ
巻ー
みうことても 細 古寺巻
巻年ぐうりハ面ものまま
をわうちぐれくまを扇の撰
集ちぐーまを又和をまの
ぐまーまや
人やぐく 河 紙金絵陸奥紙
奥列うう檀紙をもまさぐ
ーしうく檀くまゆまこのまく
万巻よハまうちのくれすゆまこの
紙くまう紙金河しハ花
平陸の中を南へぐれう
川く仁和寺川くも号を五
ハ万て紙をもれ紙ぐう
今の世れ人のまみう絵ぐうまま
暁ハ祢上蔦ーれく
をくまぐとうくを

あげてぐうりうまやのとぐうくやび
めの掛絵のまようまうまぐとまぐの
河 艶 ままぐうまのまーまうまうまぐ
まさぐうまうまえうぐ絵みうまうまもかし
まやうまうまぐくうまこまぐうまをまうまれぐう
くまくまうまぐまうまうまぐまうまぐ
くまうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ
まうまぐまうまうまぐまうまぐ

大臣有仁公ニハ條殿をとゝ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるべきにふしけのやしきをそうし
いそぎかうせのもとうり 細ひえを和分しうもちをこざ海よりあるべきそうし
ゐうぢせるぞのみうびしうしうこそあれ
細ひえうの文をそうり
ゐきく文よ海をせのて
明 義日あちりのすにま
掃をこうぢ文をきくはあ
あれとも

今りいぢむしうよい
細あみぢうあゐそふ四
いるけまぢりのづゐ
給ゐよりうもひ給ゐをも
るとゐ
うの家あうゐ大武
細寺掃のをぞの男ゐうに
て大武よ故ちり
この是をるをもいぢまう
のくうゐ
寺掃の今ゐるをを扶ろ
くうひくをぢてちん
とうゐ

うりうんとうにゐそを
細大武の妻乃ちゐと大武
よりうゐ寺府ゐ文
うね奥ゐてちゐゐ

ちゐまうけひさ
細ゐゐ奥ゐてちりまふ
ぢゐゐ海ゐをぢうゐひさ
給ゐぢうを
大武厳 河源氏還住大将
事不見但児女房ぢ
日ぢうのゐゐゐ中ゐゐ
欲仰ゐいはゐぢ物ゐゐき
内ゐれぢ兵源の家よれく
をゐ付の友をうく主ゐ
されハ後の頃よ物ゐうり
ゐうゐあり
えんぢうけひうり 細
ぬと後ゐ嘲ゐ河 怒う
ゐひゐのゐ岩ゐ
ゐう行よぢふ世ゐに 細 梁

うよう海ゐうんとうにゐそを
細給の内をそハ海ゐ中ゐぢゐ
はゐゐゐ海のつひゐとうぢひゐゐえ
ねぢうゐゐゐゐ給ゐう給ゐをあれい
ゐあゐれようゐうめゐゐんなぢこ
細内をうゐ文
とゐぢうゐゐうまの
細をぢの文 師 販文の内
あれゐくゐゐしやんひうりよ給ぢ
あぢうゐゐ源氏 何 義家
大武厳よやぶゐうよへゐ
給ぢをゐやじぢゐゐしゐうゐえ
ぢゐゐのゐんぢうけひうぢう給よ
とゐあのうされうぢひゐくゐうゐ
ぢ我ゐいぢ人ゐうゐ給よゐうゐうゐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今はかうなりかなりろ

細いとうの[illegible]

のらし　孟浩然[illegible]

もとひまくぬ行みと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もいろくわくるるこ
ゆゑがうけの人のこゝろもりゆ
ゑすべきみもわしん
ゑ方の人のこゝろもぐさ
みもわしぬしぬし源氏の
性のをぐれさうまうそ
うろんとも思て表と
ゆゑんをうろん
この歌は古院のかれうの
細澤殿の是よまれ給ひ
けり。同月十日
外のすゑ源の北七条と
うのどんじのこゝみ
細ひさうの表れゆゑ乃
あぐりけりゆゑ法師
是も世俗をうれうと
ゝさま海苔りみちり
ゆわしよ恋ぞうろうべ
ちろく権大納言
妙法寺源氏の
のありさま海と法師の
うろうしゆゑ

とゝしのふけそぐあるべは地ぐうけの人
のこゝをりゆゑとぐさみもあるべし。
しこは学しどいとおしうりのいひさぐる
こゝやうろうみをよなりゆくまたいとぐ
細澤殿
常陸の三帝北方
うろんしうるくうるべげよるべめすべ
源氏の北方
しゆゑのこれあは古院のかあよ法ハ
ゆゑ世中ゆゑうてし法ゝこゝよそうやべ
侍
行ふと考法之
はるべてのはめるべざえをぐれをこるひ
よしゝゝこゝゝ限をこゝを法それば
このどんべの志も考うるうろうり
市場の方へ
海よりうちうて
源氏し
妙法寺の前
ちろく権大納言殿
のはハうよ考うて法つなりいとう

いけう浄土 孟生仏国五世
ちうけうり
孟源もうんもそいるを
と碓氷の法師の細
うろのみうう
細源のかすゑ濁の世
よりれ法て考特なる
うゝゝむくうるる細
なり 五濁 初濁 見
濁 煩悩一 衆生一 命
一
ふうの仏ぐり
細仏ちうりうるべは世
さゝゝ かぐろ法
ゝ孟世をもうふんよ
をもそゝれうとま
拙のうゝみをかすり
ぐよゝうりうめり
細仏ちうくひまゝ
ぐは今ふゝうりうり
と市場のうさま海よひ
しうをてうよとう

いけう浄土のうぐうよをゝゝべいう
妙法寺ゝうさゝぐうりうるうん
しまうる仏菩薩のへんげの身
妙法寺 仏菩薩 変化 仏と考えての身
やゝのみれいつのようりうさせよる
どそひれ法うんといひてやゝくいで法
ひぬゝゝぐくるようの人みくぬはわくひる
兄弟の中ゝ
てゝひるさうの拙をぐよえをうしあうせ
ゝ海をゝべゝそもうぐうりつるうさうのあり
市場のゝ
ううの仏菩薩やとつゝゝ芝海うとげ
よ限なりとやうくうひうり法よ大
武の中方ようそれうまいさもう

礼記内則適子庶子祇事宗子宗婦雖貴富不敢以貴富入宗子之家雖衆車徒舍於外以寡約入不敢以貴富加於父兄宗族

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゐるさまもをぐさやとて夢の
地よりくく

そこばくもなりよう
盃何の兵部卿にそくんと
なりり　盃左右八今辞
されども女るどハいひつる
しるきにそく　時日
世のまのくさざめもみり
されば
ゆほどのうちひきり
てをれたりゆきくせ
うまくいつれでそれも
中さえてくさびき
さ海よりたれといい
ひく中くまれくづまの
分ハりりやをさとは
あひさうまにんはぐり
して主揺をあざむき嘲
時をるさ海くぶるもし

かりうさ海みはてぐらもるくぐさぐう
されどゆくさらよんとやりていとくらよ
ぎかりう敬をおいをくくとそくくをてしうと
てみをるくくりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九天よりくだり 細 九天はあまつ
ぞらなり 後に 若はこれの
しけ九天にぶれば ぶらら
と九天にはすると 所 手摘
花のこのみ ちりぬるを 手摘
花のきよとあり
ひとのくのえくう 細 薫物
の異名 河親行云為薫
ドされ 小原氏物語ハ
ちのえくうとの中りの
袋あり 延喜式 全分不
覚悟云 薫衣香ハ黒方
此一名 ちり又薫物
の異名云 各別の方也
註梅枝巻
ものぐさ 細 ありめはな
とをるる 所 伝後ハ
のこれなれば 手摘より
ゆくるれて 遠きとい
やひもらぐらと
むらぐ ハ髪を 褒美を
何 ゆるるもぐ
らをくるとも 踏
云 下句のけ

ちりぬべきさりのなくて 手摘の髪
紙れば れ
ちりぬるをとりあつめて ぐ
るぐ九天 よづりぬ
とかしげるをよられ むしのく
の衣香 薫
てしまふ 一垂 具
手摘 河井の井のみとえみ
ぐとまつ 手摘の多上とてのえ
思のあるよりけるれぬ こ
をもあり ひるさ
つ花 とそ
らるも ら
てうとう

ゆうとよりくだりぬ 家なり
あまくの 細 伝後が母 伝後が母をまことにいとをしがる
ぬるや ゆさりのくめとぶ
しあまりさそぐとをとりも 手摘をえ結をとし乳母伝後よ遠をせ
うをそうくも 手摘のさうをみ結ハことりうれど
まくの遠 遠云 及
つとえ結 伝後の
ねどもとえ 伝後の
ゆ比の 細 年月恋思
しの結 ものも
まつ
とり

乳母 細 伝後
後 この人も物をとこそやうず ゆくの
遠 云ハさ にゆしさせ
の志のびぐ ものうと紙をぐ伝つ
よ ぬ ぬ
うよ 伝後方
むぐ
ものの形をとけてらうんいのらて
ちり伝 細 大系の書のえ
ゆりぬ 盃伯母服去
ゆ 細 伝後うんえ

そやとしてうそ
細人くあるべくもなく
ひわすれつる 仰 伯氏のお
てゆくと思ひなりし之
身てにつけしう
とのゝ身れ行くにつけ
ちうし

あしの山 細 伯氏為
信みもくひの山ねもひ
やうくあるべきうの山
乗月の君がゆくうの山
山ちくゆくも雪のまよ
く伯氏為わん 雲のあ
うの白山世のようりかく
の年れ雪つりつて

孟車さく
てひさいづれぐうりこのこそれうり。そう
ぐうるびつくもゆきさるれぐりつうへの。伯氏へ
くわれゆうこそ紙いてんぐはそうぐを。えの四へ
よりうるうるまぐきかいぐへいぐや
こうぐいぐうこうきうこ絵そんと
わくりえこそ会ぐこうまぐそれとそのう
身てよつけうこうぐとやぐぐと海
みまぐうこうそ紙へうくこうかうす。未の心中へ
月ぐうるかわれぐゆきあくれぐうよ
てゆうはこうきまあうと。孟西白さこやうへ 明日夕月と
みこぐうまぐむぐくの海よふうけを
まてこうのの白山こひやくるく雪のくう

うの為よはめうくよ
細 伯氏上をうう 明 義日め
うくきふくこそれうく
下孟氏下の月よ拾さ分ぐ
きこうりむめうしき
の月下孟伯氏のうり上
うく 仰 此伯氏為れ八孟
しきふくこ八海の伯氏の
ぬうくきふくのうく
くううぬ
細原北八氏なうみこう
くーの奥へ孟二月う
内大臣よかうまふ
和月ぐうりよ花ちう里
を紙ぐーくて
仰 花ちうきくいくめ
うり交う孟あうと見
えくう

よぐうふうもぐ人ぐよるくてづれぐくと
ぐめ孟 細 伯氏へうる
うくくうひをぐうくうこと伯氏へうるうを
てぐうもちうぐ海くくうえてのうちも。
細 孟 伯氏へうる海のうを
ううくくうびくくやぐうくぐうう海
めぐくくく

風よつてなり　細　引歌よ及
なし　何人をかさき者り
白つる為花風よあそこそ
なびくべくこるれ
花をそこのとうとわきこそり
そびえこの中うり数のさ
ざるるべくこうる者ふ
さ海なり
こうびみうりへうりて
細花ろ里とふべて
ゆのふ者よ数の花り
数とかりべるる明義を
梅るくねど又ゆくとく
此問花鼓里人出ふるる
出ものるるく

ゆりひつでゆてゆて。遠びくあいのくよはいを
海さそくていどる結里どろみりつる名所乃
わめとうとそこそこて。ゆくこそ月さ
ゆくり。遠びありさくこの中のりさ場ゲくあれく。
えんちろ海どのゆづく東よ。ろの程よ
ろびのこと笑くあくおろすよ。ろさりるく
お常陸の古名
あれくろ部のこ
森
細此門の名なし数と番号
るをそこ結場月ろろ行ゆ数の咲ろり
て月ろびる
ふびかろ
ろ花みは
ろ
ゆ
ろ
ろ
ろ

われらのどうせるぞ　絵
もやうなどのはなをでさ陽
夏のまるしかるべ
かきさんと　細ひとりの文
の方ハりも結を宮ぐ
と伝有いきりて面白
表ろ心付の感ろ出
来ぬ所とみしら師古
文を為ろ徒の源より
いろ初の事のぬをそ
れろりてめぐろく
ろさろるさめぐろて
俳文の書稿の作部をさ
づろく

それぞてゆきて此ろ
俳文ろく心事の為を
ゆきうひてえろれと人
ぶもるさやに内ろ見
しみ今ろれもそれば
それぞてそと

同ろくさもろよ
西俳文ぐとでよろを
ろよ風教よみ付は
赤の果報く

まひろれぞあていとろおれしくぶぐ
してりめれろひしのろつとを
しのどくとせそうこのゆろひさつち
るぞつ思いるべろざて
孟世れろく
ろさんとろありものはまるたわ
れろのされろづくさそふもんぞうしき報
ろ初ようけて孟世花
よるんありろそれいりて光ぐく
人の書もろやとみろよいろ人げを
とぞされぞてそゆきこのろよろれ
ど人すとげるさ地とぞそろ
ろ俳よ月あくさかろよれぐし
三間
ろまぐろあけてぞれろぐく丸色思

それ
それ俳枝が伯母あるを
女し俳伯枝ろそ作しね
それよれろくぬぞと

りろね
前ろもいぐ孤の位ろり
ろりてこ極ぐる・ノの
りのもろりくろとも
ハもろるぐろり義ろ
西ろ位ーろくれバ俳之
とろろふく

人げあろけろ
惟光ぐ
惟光ぐ
惟光ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細殿の内の人々

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つまをとう
孟先生の著述アク習
畧しるす

爲る程るべし　細なる地く
と爲はしを　おのしやうん地むすくれべん
きく地うくんべうをつぐわうん
ひいべくをゆべをぜ